

よんでネット*

2018

春号

発行□茅ヶ崎市立図書館／協力□茅ヶ崎図書館子どもの本の会

目でみることばのずかん 文・おかべたかし 写真・やまでたかし

人気のあることを「ひっぱりだこ」というけれど、「ひっぱりだこ」ってどんなタコだか知ってる？写真で見るとすぐわかるよ。

「夏」って漢字は、夏まつりで踊^{おど}ってる人の形なんだ。写真で見るとわかりやすい。

「イモリ」と「ヤモリ」、「林」と「森」の違^{ちが}いもひと目でわかる。

この本で、ことばを目で見るという あたらしい体験^{たいけん}をしてみよう。



東京書籍 [81オ]

福島の伝説 猫魔ヶ岳の妖怪 八百板 洋子 再話 斎藤隆夫 絵



福音館書店
[E・絵本のコーナー]

福島の四話の伝説^{でんせつ}が絵本になりました。
とおいむかし、妖怪がすむ山^{やま}があって、殿さま^{との}がたいじを命じると つむじ風^{かぜ}がたち、奥^{おく}がたがさらわれた「猫魔ヶ岳の妖怪」
たき火のけむりで空^{そら}にのぼり雷神^{らいじん}さまになった「天にのぼった若者」
むすめが思いをよせたのは大杉の精^{せい}であった「大杉とむすめ」
かわいがっていたこぎつねは おいなりさまのひとり子で、それから稲^{いね}がよく実るようになった「おいなりさまの田んぼ」

ぼくとベルさん 友だちは発明王

フィリップ・ロイ著
檜田理絵:訳

10歳になったエディは、かしくて豊かな想像力を持った少年だった。けれどエディには字の読み書きができないという障害があった。大人たちはエディに勉強を教えても無駄だと思っこんだ。だからエディも将来に希望を持たなくなった。

そんな時エディは発明王のベルさんと出会った。ベルさんは思いがけない言葉を投げかけてくれた。エディの中で希望がめばえはじめた。



PHP研究所 [9330]

まるごと発見!

校庭の木・野山の木①

サクラの絵本

勝木俊雄◇編 森谷明子◇絵



農山漁村文化協会 [47カ]

満開の桜・桜・桜…きれいだね。

桜がこんなに咲きそろうのは、なぜだかわかる？ それは、クローン増殖されているから！でも、人の手が加えられていない野生種の桜は、縄文時代から咲いていた。

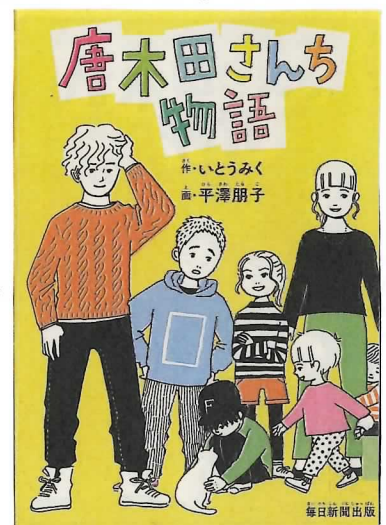
桜は、日本人が昔から花を愛で、食べて香りを楽しみ、木材としてもいろいろに活用してきた木。花が散った後も、観察を続けてみませんか。

②イチョウの絵本 ③マツの絵本 ④カエデ(モミジ)の絵本
人の暮らしと深くかかわってきた木のシリーズです。

唐木田さんち物語

作・いとうみく 画・平澤朋子

5年生の唐木田志朗は8人きょうだい。宿題の作文「ぼくの家族」になやみながら家へ帰ると、かあちゃんと長女のいち姉がなんだか変な感じ。原因は、いち姉の結婚話にあるらしい。きょうだいみんなでいち姉の味方になると決めたとけど、志朗は胸がすうすうして落ち着かない。だって、家族がへるなんて考えたこともなかったんだ。



毎日新聞出版 [9131]